

宮崎大学発 都農町かわら版

令和5年6月号



宮大が都農町寄附講座で
行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

ワイン買って
帰ります！



毎号変わる！
大学生に聞いてみよう 宮大生インタビュー

笠嶋 厚志さん 医学部医学科6年生

岐阜県出身。5/8～6/1まで4週間都農町に滞在
して都農町立病院にて地域包括ケア実習。
バレーボール、ウィンドサーフィン部所属。
人に教えることが好き。

Q.大学生になって楽しかったこと、頑張ったこと、お悩みなどを教えてください。

医学部は部活がとても盛んです。私も2つの部活に入って週5～6日活動しています。
ウィンドサーフは淀川や青島で打ち込み、日焼けで真っ黒でした。親元を
離れて一人暮らしで来た宮崎で、部活の仲間との日常のおしゃべりやご飯の時間で
仲良くなりました。最近思うことですが、医学生、実はあんまりモテないです^^;;

Q.地域医療に興味を持ったきっかけは？

串間で出会った病院の先生です。地域の誰もが知る先生で、この地域の医療を自分
が引き受けるという責任感で仕事される姿を見て、この分野に興味を持ちました。
これからの時代、頑張らなくてはいけない熱い分野でもあるので。

Q.都農町の町立病院での実習を選んで希望した理由は？

3年前に実習で都農に来た時にお世話になった先生方との交流で楽しかった思い出
があったこと、病院が教育に力を入れていて、研修医0年目というコンセプトで
受入れ体制もしっかりしていたこと。学びに良い環境だと感じたので。

6月のけんこう日記より抜粋 (6/3)

ユーモア×医療の映画 by桐ヶ谷先生

ユーモアとは、にもかかわらず笑うこと。

悲しいことや辛いことも多い医療現場だからこそ、ユーモアは大事だったりします。

ユーモアが治療には大事と信じて、ジョークを連発するユニークな療法を実践する実在の精神科医を描いた映画といえば、「パッチ・アダムス」。ロビン・ウィリアムズが演じて、1998年に映画化されました。

当時、私は医学生で、将来どんな医師になるかイメージを持っていませんでしたが、この映画を見てとても印象に残ったのを覚えています。見たことない方にはぜひおすすめします。



都農
けんこう日記

6/15つのまるケアミーティングを開催

5月より町内の医療・保健・福祉専門職を対象にした院内セミナーを開始しました。2回目の6/15のセミナーは、県立日南病院より木佐貫篤副院長をお招きして、医療・保健・福祉の連携を図る「日南在宅ケア研究会」の取組を紹介いただきました。勤務時間後の18時から、町立病院に33名が集まりました。



そもそもなぜ上手く連携が進まないのか、交流の仕方の工夫、1995年発足から存続の危機を経てどのように活動を続けてきたのかに加え、新たな構築におけるアドバイスもあり、都農町での地域包括ケアシステム構築に大いに参考になる内容でした。

Q.将来の夢は？

もともと教師志望だったこともあり、医師でありつつ指導もできるような、「好き」を生かせる仕事ができたらと思います。子どもとの関わりも持ちたいですし、夢はいろいろ変わりますね。

Q.中高生へのメッセージ。

小学生の時に、男子らしい習い事をしたいという理由で習っていたピアノを辞めてしまいました。今になって後悔。音楽をやっている人はぜひ続けると良いです。その他部活動、恋愛は頑張ったらよいと思います。あ、もちろん勉強もですけど。

大学生の話、
読んでみる
ぴょん！



5/20、5/27(土)に地域学基礎の学生98名が都農町で町歩き散策をしました!



1年生の必修授業「地域学基礎」を受け持つ寄附講座の瀬川先生が昨年度から実施している地域資源マップ作り。1年生が都農町資源探索に訪れました。5/20都農駅に60名、5/28東都農駅に38名が、各自市内から電車で朝9時に集合し、20班に分かれて各班担当の地区を徒歩で一日がかりで散策しました。

出会った町の方々からお話を伺い、中にはお菓子やお土産を頂いた学生もいました。学生たちにとっては、都農の人の温かさを肌で感じ、地域で学ぶことの楽しさを感じる初めての実習機会となりました。町の皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。



6月の授業では、各班で町歩きで得られた情報を元にマップを作成するグループワークが始まりました。今年はどうのようなマップが出来上がるのでしょうか。前期終了時に皆様に完成したマップを披露いたします。どうぞお楽しみに!

6/2(金)PBLⅡ第1回デジタル茶室@寺迫公民館を開催

学生がタブレットやスマホの困りごと相談に答えながら、地区の方の話を伺い交流を深める「デジタル茶室」。5月のお試し懇話会を経て本開催となった第1回デジタル茶室に寺迫地区から9名がタブレット・スマホ持参でご参加されました。お茶菓子を囲んで、LINEの使い方や、連絡先の登録など3名の学生がパパッと解決&説明していました。スマホを使いこなす上級者や好きな演歌をタブレットで流し聴いている方もいらっしやり、皆様デジタル度が高いな〜と感心しました。昔の話や最近どうね、などを若者や仲間と語りあう場にもなり、「孫と話すようで楽しかった」との声が聞かれました。



この日は、4月に着任された東都農小の曾我部校長先生が様子を見に来られ、参加者の皆様とやっこ踊り談義で盛り上がりっぱなしでした。何か新しいことが始まりそうな出会いの場にもなったようでした。



キーワード:地域資源マップ作りとは?

By瀬川先生

地図と区別するためマップという言い方をしています。人数と時間の関係で、仕方なくPCや写真を活用しますが、目指すは道案内や消費の道具としての地図などではなく、「絵記録」に近いものです。描かれるものは一種の都農町に関するモノグラフ(民俗誌、生活誌、地誌?)、あるいは都農固有の生活世界や文化の伝承となるかもしれません。最近では、手づくりのマップやマップづくりそれ自体がもつ、作り手や地域の生活者同士のコミュニケーション・メディアとしての可能性が注目されています。これをきっかけに様々な地域実践に発展するというのです。「地域人材」を目指して学ぶ学生にとっては「先取り学習」ともいえます。

地域資源マップとは、「標準的な地図が可視化するモノの配置の情報以外の、地域にとって重要なものすべてを描いたもの」なのです。

☆夏休み特別企画 予告☆ 中学生必見

昨年に引き続き、夏休み中学生大学訪問を実施します。

8/8(火)「宮崎大学へ行ってみよう!」は、都農町町役場からバスで大学へ行く日帰りツアーです。

参加費無料! 8:50~15:30頃

今年の訪問の内容は、

- ①アロマビーズをつくる実験講座
- ②大学生に聞いてみよう「交流」
- ③学食体験(お昼)
- ④図書館見学
- ⑤キャンパス内バスツアー

(牛や馬小屋、畑や太陽光施設)

と盛りだくさんです。親子参加、生徒、保護者のみもOK! 大学ってこんなところ、を感じてもらおうという企画です。たくさんのご参加をお待ちしています。問い合わせは都農町教育総務課: 25-5723

都農町×宮崎大学 夏休み特別企画

宮崎大学へ行ってみよう!

令和5年8月8日(火)

参加費 無料 定員 25名

8:50 役場集合~15:30(予定) 役場解散

※お申し込みは大学の良農で各自集まります。履修代金持ち帰りのこと。

二二休講講座	スケジュール(予定)
食品加工技術を持ってアロマビーズを作ろう	9:00 朝集まり(バス乗降)
地域資源探訪 山崎 有美准教授	10:00 大学、本館見学
山崎 有美准教授	10:30~ 二二休講講座
	12:00 昼食 学食体験
	13:00~ 図書館、学内ツアー
	14:00 大学後陣(バス乗降)
	15:30 役場解散

お問い合わせ: 都農町教育総務課 TEL: 25-5723

【申込みフォーム】 申込期間: 7/21(金)~7/27(金) 対象: 都農町中学生(学年無関係)

参加者(小学生以下)の氏名	参加者(中学生)の氏名	参加者(保護者)の氏名	参加者(保護者)の住所
参加者(小学生以下)の学年	参加者(中学生)の学年	参加者(保護者)の学年	参加者(保護者)の職業
参加者(小学生以下)の性別	参加者(中学生)の性別	参加者(保護者)の性別	参加者(保護者)の電話番号



編集・作成: 宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日: 2023年6月21日(原則毎月発行)
発行元: 一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ: 0983-32-1270(つの未来財団)